

優良農家の紹介

揖龍地域花壇苗の振興は新規就農者育成から

龍野市の井上明さん（66歳）は、1985年にこれまで取り組んできたトマト栽培から花壇苗生産に作目転換した。当時、年間90万ポットであった生産量は、2004年に140万ポットとなり、花壇苗需要の増大とともに着実に規模拡大を図ってきた。

経営発展の過程で井上さんは県内外から多くの研修生を受け入れ、その卓越した栽培技術を惜しみなく提供してきた。研修を受けた新規就農者はすべて自立し、揖龍地域で活躍している。

そこで、井上さんの新規就農者支援の取り組みについて紹介する。

1 就農相談時の対応

研修生の受け入れ時はほ場で面談を行い、就農の意思や栽培品目の希望などを確認している。また、就農候補地の選定については、龍野市役所と連携し、適切な助言を行っている。

特に非農家の研修生は10年間の利用権を設定して農地を借りることが大半のため、地主の気持ちを考えた行動をとること等を伝え、末永く農地が借りられるよう配慮している。

2 研修の指導内容

研修生は、土入れや出荷作業等、従業員と同じ作業から体験させ、慣れてきたら水やりや薬剤散布の方法を指導する。これら一連の流れの中で作業の段取りの大切さも伝えている。また、農業・土壌肥料の基礎知識の指導も行っている。

特筆すべきは、栽培だけにとどまらずハウスの清掃など経営姿勢のあり方について、徹底した指導がなされていることである。来客があればきちんと作業を止めて対応するという、社会人としての躰の部分も徹底して教育している。

3 独立後のフォロー

研修生が独立したあとも、トラブル時の対応はもちろん、近隣市場で研修生の商品をチェックし、後日研修生にアドバイスを行っている。

4 兵庫県農業賞を受賞

井上さん本人の経営内容はもちろんのこと、新規就農者へのきめ細やかな支援の取り組みが評価され、2003年12月に兵庫県農業賞を受賞された。今後も地域の花壇苗生産振興の要として大きな期待が寄せられている。

福田 憲志（龍野農業改良普及センター）

表 新規就農者の受け入れ状況

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
研修受入	1	0	1	0	1	1	0	0	1



ハウスを清潔にすることが経営の第一歩



受賞に関係者一同が喜んだ

ひょうごの農林水産技術 No.138

平成17年3月1日（隔月刊）

兵庫県立農林水産技術総合センター（0790）47-2400

1部250円（申込先・県立農林水産技術総合センター）